



Wacom® 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日

上場会社名 株式会社ワコム 上場取引所 東
 コード番号 6727 URL https://www.wacom.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 井出 信孝
 問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 小島 周 TEL 03-5337-6502
 半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家・金融機関向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	57,315	3.1	5,475	122.9	4,785	△4.1	3,470	△8.8
2024年3月期中間期	55,591	2.7	2,457	7.6	4,990	18.7	3,804	17.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,340百万円 (△30.7%) 2024年3月期中間期 4,817百万円 (15.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	24.22	—
2024年3月期中間期	24.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	77,466	33,431	43.2	236.69
2024年3月期	79,620	35,968	45.2	247.64

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 33,431百万円 2024年3月期 35,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	1.0	8,500	20.4	8,500	△13.7	6,200	35.9	42.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 10ページ 「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	146,000,000株	2024年3月期	152,000,000株
2025年3月期中間期	4,754,786株	2024年3月期	6,756,189株
2025年3月期中間期	143,282,699株	2024年3月期中間期	156,102,868株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 4ページ 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年10月30日 (水) にアナリスト・機関投資家・金融機関向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な後発事象の注記)	11
3. 補足情報	12

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）における当社グループを取り巻く事業環境において、世界経済はロシア・ウクライナ情勢に加えて中東地域に起因した地政学的緊張が続くなか、インフレ率の鈍化と日本を除く主要国の中央銀行による金融緩和策も示されたことなどから、着実な経済成長が見られました。このような情勢下、IT市場では、モバイル、クラウド、AI、ブロックチェーンなどに関連した技術革新や利便性向上などが見られました。なお、同期間の主要通貨に対する円相場は、各国の景気や金融・貿易政策等に対する見方を反映し、前年同期の平均レートと比較すると対米ドル、対ユーロ及び対中国元で小幅に円安となりました。

このような事業環境の下、当社グループは、2021年5月12日に発表した2025年3月期を最終年度とする中期経営方針『Wacom Chapter 3』及び2023年5月11日に発表したその「アップデート・レポート」における施策に則って、ペンやインクのデジタル技術で常に市場の主導権を握り、「意味深い成長（財務的な成長だけではなく、私たちのお客様が製品・サービスのユーザー体験を通じて感じる成長であり、私たちが日々の暮らしを営む社会やコミュニティ全体が新たな学びを積み重ねていくことであり、一人一人の自己実現を通じた成長で構成される多面的な意味を持つ成長）」を目指して事業運営にあたりました。当中間連結会計期間では、XR（クロスリアリティ）、AI（人工知能）、セキュリティ（安全性）、教育などといった成長分野において、事業モデルを一段と進化させるための戦略を協業パートナーと推し進めるとともに、生産性やコスト構造の改善にも努め、経営判断の質の向上を通して経営課題に取り組みました。

ブランド製品事業については、創造性発揮のための最高体験をお客様にお届けするため、技術革新に取り組むとともに、顧客サービスの向上に努めました。当中間連結会計期間では、主力のクリエイティブソリューションにおいて、ディスプレイ製品、ペンタブレット製品ともに売上高が前年同期を下回ったことから、ブランド製品事業全体としての売上高は、前年同期を下回りました。

テクノロジーソリューション事業については、デジタルペン技術（アクティブES：Active Electrostatic、EMR：Electro Magnetic Resonance）の事実上の標準化に取り組むとともに、タブレット・ノートPC市場での利用拡大や教育市場での事業機会の拡大に努めました。当中間連結会計期間では、AESテクノロジーソリューションの売上高が前年同期を下回りましたが、EMRテクノロジーソリューションの売上高が前年同期を上回ったことから、テクノロジーソリューション事業全体としての売上高は、前年同期を上回りました。

中期経営方針の戦略軸に沿った全社的な取り組みとしては、当社グループの事業を取り巻く環境が大きく変化し、事業構造を変革させる必要が生じているとの認識の下で、当連結会計年度を中期経営方針『Wacom Chapter 3』の「事業構造変革期間（2024年3月期から2025年3月期まで）」の最終年度と位置付けました。ブランド製品事業においては、商品ポートフォリオの刷新を含む構造改革に取り組み、新しいユースケース「ポータブル クリエイティブ」を確立すべく、2024年4月に「Wacom Movink（ワコム ムービंक）13」を発表しました。また、企業価値の中長期的な向上を目指す観点からは、当社グループが持つデジタルペンの技術価値や各要素を「ペンとインクの統合体験」として市場実装すべく、次世代の成長エンジンとなる技術開発を推進しております。サステナビリティの取り組みについても、当社グループは、気候変動問題を環境経営における重要な課題として捉え、温室効果ガスの削減に向けて、気候変動が事業環境に及ぼすリスクや機会を踏まえた事業活動を行っております。その一環として、ステークホルダーに対してより信頼性、透明性の高いデータを開示するため、2024年8月には、2024年3月期の温室効果ガス排出量データ（Scope 1, 2, 3）について、国際基準に準拠した第三者検証による第三者保証報告書を取得しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高が57,315,152千円（前年同期比3.1%増）、営業利益は5,475,354千円（同122.9%増）、また、営業外損益において為替差損710,976千円（前年同期は為替差益2,549,590千円）を計上したことなどが影響し、経常利益は4,785,198千円（同4.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は3,469,899千円（同8.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド製品事業

<クリエイティブソリューション>

クリエイティブソリューションは、市場環境の変化による影響を受けるなか、ディスプレイ製品、ペンタブレット製品ともに販売が減少し、前年同期の売上高を下回りました。

○ ディ스플레이製品

プロ向けモデルは、2023年10月にラインアップを拡充し2024年4月には新商品を投入したことで需要が増加したことなどから前年同期の売上高を上回りました。プロ向けモデル以外では、中価格帯モデルが需要の減少などにより前年同期の売上高を下回ったほか、低価格帯モデルが2023年8月にはラインアップを拡充したものの需要の減少などにより前年同期の売上高を大幅に下回りました。これらの結果、ディスプレイ製品全体の売上高は、前年同期を下回りました。

○ ペンタブレット製品

プロ向けモデルは、経年に加えて需要の減少などにより前年同期の売上高を僅かに下回りました。プロ向けモデル以外では、低価格帯モデルが低価格帯への需要シフト加速などにより前年同期の売上高を大幅に上回った一方で、中価格帯モデルが2023年8月にラインアップを拡充したものの前年同期の売上高を大幅に下回りました。これらの結果、ペンタブレット製品全体の売上高は、前年同期を下回りました。

<ビジネスソリューション>

流動的な市況や案件進捗の動向の影響があるなか、ビジネスソリューション全体の売上高は、前年同期を僅かに下回りました。

これらの結果、ブランド製品事業の売上高は14,823,653千円(前年同期比13.2%減)、セグメント損失は1,106,280千円(前年同期はセグメント損失2,016,566千円)となりました。

② テクノロジーソリューション事業

<AESテクノロジーソリューション>

市場環境の変化による影響を受けるなか、AESテクノロジーソリューション全体の売上高は、前年同期を僅かに下回りました。

<EMRテクノロジーソリューション>

OEM提供先の需要が増加したことから、EMRテクノロジーソリューション全体の売上高は、前年同期を上回りました。

これらの結果、テクノロジーソリューション事業の売上高は42,491,499千円(前年同期比10.3%増)、セグメント利益は9,324,845千円(同34.8%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産の残高は、77,466,468千円となり、前連結会計年度末に比べ2,153,189千円減少しました。これは、商品及び製品が2,055,462千円増加し、現金及び預金が4,458,713千円減少したことなどによるものであります。

負債の残高は、44,035,636千円となり、前連結会計年度末に比べ384,202千円増加しました。これは、買掛金が4,076,651千円、未払法人税等が1,187,933千円増加し、賞与引当金が640,148千円、流動負債のその他が3,379,931千円減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は、33,430,832千円となり、前連結会計年度末に比べ2,537,391千円減少しました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益3,469,899千円により増加し、剰余金の配当2,904,876千円、自己株式の取得2,999,975千円により減少したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.0ポイント減少し、43.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、27,202,028千円となり、前連結会計年度末に比べ4,458,713千円減少しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,217,620千円の収入(前年同期は5,952,405千円の収入)となりました。これは、税金等調整前中間純利益4,650,576千円、減価償却費1,070,019千円、棚卸資産の増加額2,880,201千円、仕入債務の増加額4,209,440千円及びその他の流動負債の減少額3,573,209千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、412,491千円の支出(前年同期は1,066,838千円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出329,511千円及び無形固定資産の取得による支出86,039千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,323,439千円の支出(前年同期は488,333千円の収入)となりました。これは、自己株式の取得による支出3,005,974千円及び配当金の支払額2,895,741千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月9日の「2024年3月期 決算短信」で公表した2025年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,660,741	27,202,028
売掛金	12,899,977	13,213,504
商品及び製品	7,583,379	9,638,841
仕掛品	367,221	367,138
原材料及び貯蔵品	5,139,145	5,677,414
その他	7,073,653	6,788,910
貸倒引当金	△44,553	△40,309
流動資産合計	64,679,563	62,847,526
固定資産		
有形固定資産		
その他 (純額)	5,715,528	5,097,073
有形固定資産合計	5,715,528	5,097,073
無形固定資産		
その他	1,531,240	1,460,649
無形固定資産合計	1,531,240	1,460,649
投資その他の資産		
その他	7,693,326	8,061,220
投資その他の資産合計	7,693,326	8,061,220
固定資産合計	14,940,094	14,618,942
資産合計	79,619,657	77,466,468
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,477,634	15,554,285
短期借入金	5,000,000	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,000,000	2,000,000
未払法人税等	21,772	1,209,705
賞与引当金	1,382,872	742,724
役員賞与引当金	52,444	20,218
製品保証引当金	205,311	175,127
買付契約評価引当金	2,007,172	1,994,119
事業構造改善引当金	362,867	—
その他	11,388,807	8,008,876
流動負債合計	33,898,879	34,705,054
固定負債		
長期借入金	7,000,000	7,000,000
退職給付に係る負債	1,099,324	1,087,139
資産除去債務	311,497	309,364
その他	1,341,734	934,079
固定負債合計	9,752,555	9,330,582
負債合計	43,651,434	44,035,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,203,469	4,203,469
資本剰余金	4,044,882	4,048,042
利益剰余金	29,707,842	26,183,721
自己株式	△4,575,712	△3,461,767
株主資本合計	33,380,481	30,973,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,806	382,496
為替換算調整勘定	2,577,233	2,056,925
退職給付に係る調整累計額	19,315	17,946
その他の包括利益累計額合計	2,587,742	2,457,367
純資産合計	35,968,223	33,430,832
負債純資産合計	79,619,657	77,466,468

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	55,591,277	57,315,152
売上原価	38,579,868	37,213,586
売上総利益	17,011,409	20,101,566
販売費及び一般管理費	14,554,484	14,626,212
営業利益	2,456,925	5,475,354
営業外収益		
受取利息	8,219	46,112
受取配当金	—	21,762
為替差益	2,549,590	—
その他	10,220	29,112
営業外収益合計	2,568,029	96,986
営業外費用		
支払利息	31,999	59,960
為替差損	—	710,976
その他	2,634	16,206
営業外費用合計	34,633	787,142
経常利益	4,990,321	4,785,198
特別利益		
固定資産売却益	1,591	64
受取保険金	50,000	—
情報セキュリティ対策引当金戻入額	95,456	—
その他	10,454	—
特別利益合計	157,501	64
特別損失		
固定資産売却損	2,285	539
事業構造改善費用	—	124,995
その他	5,805	9,152
特別損失合計	8,090	134,686
税金等調整前中間純利益	5,139,732	4,650,576
法人税等	1,336,031	1,180,677
中間純利益	3,803,701	3,469,899
親会社株主に帰属する中間純利益	3,803,701	3,469,899

(中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	3,803,701	3,469,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,299	391,302
為替換算調整勘定	928,808	△520,308
退職給付に係る調整額	319	△1,369
その他の包括利益合計	1,013,426	△130,375
中間包括利益	4,817,127	3,339,524
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,817,127	3,339,524
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,139,732	4,650,576
減価償却費	1,218,786	1,070,019
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,420	△3,390
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△381,171	△622,501
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,437	△32,226
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	31,717	△13,513
受取利息及び受取配当金	△8,219	△67,874
支払利息	43,111	68,020
為替差損益 (△は益)	△1,845,507	650,479
固定資産売却損益 (△は益)	694	475
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,691,928	△423,941
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,467,145	△2,880,201
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,473,713	4,209,440
未払又は未収消費税等の増減額	262,951	466,092
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△95,575	△398,534
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	277,980	△3,573,209
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	596	11,511
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	2,367	△1,699
その他	21,542	26,948
小計	6,939,791	3,136,472
利息及び配当金の受取額	22,713	65,792
利息の支払額	△32,642	△86,936
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△977,457	102,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,952,405	3,217,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	37,517	—
有形固定資産の取得による支出	△880,478	△329,511
無形固定資産の取得による支出	△222,554	△86,039
有形固定資産の売却による収入	2,442	268
敷金及び保証金の差入による支出	△4,881	△6,843
敷金及び保証金の回収による収入	1,116	9,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,066,838	△412,491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5,000,000	—
自己株式の取得による支出	△1,001,961	△3,005,974
リース負債の返済による支出	△389,973	△421,724
配当金の支払額	△3,119,733	△2,895,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	488,333	△6,323,439
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,317,900	△940,403
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,691,800	△4,458,713
現金及び現金同等物の期首残高	19,979,904	31,660,741
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,671,704	27,202,028

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド製品 事業	テクノロジー ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,077,857	38,513,420	55,591,277	—	55,591,277
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	17,077,857	38,513,420	55,591,277	—	55,591,277
セグメント利益又は 損失(△)	△2,016,566	6,915,362	4,898,796	△2,441,871	2,456,925

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,441,871千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド製品 事業	テクノロジー ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,823,653	42,491,499	57,315,152	—	57,315,152
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	14,823,653	42,491,499	57,315,152	—	57,315,152
セグメント利益又は 損失(△)	△1,106,280	9,324,845	8,218,565	△2,743,211	5,475,354

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,743,211千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式4,032,500株の取得を実施しました。また、同日開催の取締役会決議に基づき、2024年5月16日付で自己株式6,000,000株の消却を実施しました。なお、自己株式の消却により、資本剰余金のうちその他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値を利益剰余金から減額しております。さらに、2024年7月11日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において譲渡制限付株式報酬としての自己株式33,903株の処分を実施しました。

以上の結果等により、当中間連結会計期間において利益剰余金が3,524,121千円、自己株式が1,113,945千円減少し、当中間連結会計期間末において利益剰余金が26,183,721千円、自己株式が3,461,767千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2024年10月30日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

1. 自己株式の取得を行う理由

当社は、中期経営方針『Wacom Chapter 3』のもと、株主還元を重要な経営課題と認識しており、2021年5月12日開催の取締役会において、2025年3月31日までの期間に総額100億円を上限とする自己株式の取得を実施する「自己株式の取得に係る方針」を策定しております。また、2023年1月31日開催の取締役会では、2025年3月31日までの期間に総額100億円を上限とする自己株式の追加的な取得を実施する「自己株式の追加的な取得に係る方針」を策定し、これらの結果、中期経営方針『Wacom Chapter 3』の対象期間において、総額200億円を上限とする自己株式の取得を実施する方針としております。

以上の方針に基づき、現下の投資機会、資本効率、株価水準等を総合的に勘案した上で、自己株式の取得を実施するものであります。

2. 取得の内容

(1) 取得する株式の種類	当社普通株式
(2) 取得する株式の総数	4,000,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 2.83%）
(3) 株式の取得価額の総額	20億円（上限）
(4) 取得する期間	2024年10月31日～2025年1月20日
(5) 取得する方法	東京証券取引所における市場買付け

3. 補足情報

2025年3月期 第2四半期 (中間期) 決算概要

(1) 決算業績

	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期増減	
	中間期実績	中間期実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
売上高	55,591	57,315	1,724	3.1%
営業利益 (営業利益率)	2,457 4.4%	5,475 9.6%	3,018	122.9%
経常利益 (経常利益率)	4,990 9.0%	4,785 8.3%	-205	-4.1%
当期純利益 (当期純利益率)	3,804 6.8%	3,470 6.1%	-334	-8.8%
P/L換算為替レート (期中平均)	円	円	円	
(USドル)	141.31	152.30	10.99	7.8%
(ユーロ)	153.51	165.46	11.95	7.8%

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当します。

(2) 事業セグメント別業績

	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期増減	
	中間期実績	中間期実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業 売上高	17,078	14,824	-2,254	-13.2%
セグメント利益 (利益率)	-2,017 -11.8%	-1,106 -7.5%	911	—
テクノロジーソリューション事業 売上高	38,513	42,491	3,978	10.3%
セグメント利益 (利益率)	6,915 18.0%	9,325 21.9%	2,410	34.8%

注) 各事業のセグメント利益は、管理部門等のコーポレート費用の「調整額」の消去前です。

(3) 製品ライン別売上

	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期増減	
	中間期実績	中間期実績	金額	率
(現地法人別)	百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業	17,078	14,824	-2,254	-13.2%
クリエイティブソリューション	14,898	12,664	-2,234	-15.0%
ディスプレイ	9,310	7,718	-1,592	-17.1%
(日本)	1,811	1,571	-240	-13.3%
(米国)	3,432	2,877	-555	-16.2%
(ドイツ)	2,141	1,397	-744	-34.8%
(アジア・オセアニア)	1,926	1,873	-53	-2.7%
ペンタブレット	5,588	4,946	-642	-11.5%
(日本)	485	448	-37	-7.7%
(米国)	1,925	1,491	-434	-22.5%
(ドイツ)	1,415	1,296	-119	-8.4%
(アジア・オセアニア)	1,763	1,711	-52	-3.0%
ビジネスソリューション	2,180	2,160	-20	-0.9%
(日本)	398	440	42	10.7%
(米国)	595	351	-244	-41.1%
(ドイツ)	957	1,176	219	23.0%
(アジア・オセアニア)	230	193	-37	-16.0%
テクノロジーソリューション事業	38,513	42,491	3,978	10.3%
AESテクノロジー	12,564	12,511	-53	-0.4%
EMRテクノロジー	25,949	29,980	4,031	15.5%
合計	55,591	57,315	1,724	3.1%

注) テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

(4) 現地法人別売上

	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期増減	
	中間期実績	中間期実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
日本	41,208	44,951	3,743	9.1%
(うち、テクノロジーソリューション事業除く日本)	2,695	2,460	-235	-8.7%
米国	5,952	4,719	-1,233	-20.7%
ドイツ	4,512	3,869	-643	-14.3%
アジア・オセアニア	3,919	3,777	-142	-3.6%
合計	55,591	57,315	1,724	3.1%

注) テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

注) ドイツは欧州・中東・アフリカ地域を含みます。アジア・オセアニアは中国、韓国、オーストラリア、シンガポール、台湾、インドの現地法人の合計です。

(5) 資本的支出、減価償却費、研究開発費

	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期増減	
	中間期実績	中間期実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
資本的支出	1,033	388	-645	-62.5%
減価償却費	848	709	-139	-16.4%
研究開発費	3,641	3,792	151	4.1%

注) 資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。
注) 実績には、リース資産に関わる設備投資額及び減価償却費を含めていません。

2025年3月期 通期連結業績予想

(1) 決算業績

	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期増減	
	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
売上高	118,795	120,000	1,205	1.0%
営業利益	7,058	8,500	1,442	20.4%
(営業利益率)	5.9%	7.1%		
経常利益	9,853	8,500	-1,353	-13.7%
(経常利益率)	8.3%	7.1%		
当期純利益	4,562	6,200	1,638	35.9%
(当期純利益率)	3.8%	5.2%		
P/L換算為替レート (期中平均)	円	円	円	
(USドル)	144.40	145.00	0.60	0.4%
(ユーロ)	156.80	155.00	-1.80	-1.1%

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当します。
注) 通期予想の為替レートは2024年10月以降の想定為替レートを表示しています。

(2) 事業セグメント別業績

	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期増減	
	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業				
売上高	33,814	35,000	1,186	3.5%
セグメント利益	-4,520	-2,000	2,520	—
(利益率)	-13.4%	-5.7%		
テクノロジーソリューション事業				
売上高	84,981	85,000	19	0.0%
セグメント利益	16,481	16,000	-481	-2.9%
(利益率)	19.4%	18.8%		

注) 各事業のセグメント利益は、管理部門等のコーポレート費用の「調整額」の消去前です。
注) 製品ライン別現地法人別売上の通期予想は開示していません。

(3) 資本的支出、減価償却費、研究開発費

	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期増減	
	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
資本的支出	2,184	2,000	-184	-8.4%
減価償却費	1,805	1,500	-305	-16.9%
研究開発費	7,676	8,000	324	4.2%

注) 資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。
注) 実績と予想には、リース資産に関わる設備投資額及び減価償却費を含めていません。